



呼人上空を飛ぶ
オオワシ

記録

○今年には雪が多く雪解け水が豊富だったので保全地の広い面積に水が行き渡りました。夏の草刈でヨシやオニシモツケなどの勢力がとおろえたこともあって、全体に水芭蕉の株と小さな芽が増えていきます。よい傾向です。乾燥化を防ぎ他の植物の侵入をコントロールすればミズバシヨウは増えることがわかりました。

○ホタル観察は会員それぞれで行っていますが、呼人半島の遊歩道より沢山見ることができました。ホタル情報はフレップの佐藤陽子さんまで。

○秋の増水で今年も側溝にサケの遡上が見られました。(10匹くらい)。十一月ころまで生きているものもあり卵(イクラ)が水底に帯状に広がっているのが哀れでした。ホッチャレはなぜか林の中に散らばっていました。キツネでしょうか。

○側溝のふちが崩れかけてきました。くい打ちを高田メンテナンズさんをお願いしました。春の手入れでは盛り上がったところの土を掘って一輪車で運び、護岸工事をしました。NGKオホーツク、市民ボランティアの皆様ご苦勞様でした。

○総会では副会長の佐藤正博さんが網走湖でみられるオジロワシやカワセミのビデオの紹介がありました。今後水芭蕉だけでなく網走湖周辺の自然を紹介したいと思えます。
清水敦 記



網走湖上空を飛ぶ
オオワシ
くわえていいるのは
ワカサギと魚でとれた
カワガレイ

2013年5月6日 北海道新聞

⑧網走～斜里

ふらり 春の散歩道

網走と斜里で、この春はあんなに出合った美しい風景、そして美しい風景の二つをまず紹介したい。網走市呼人の国道沿いのミズバシヨウ群落(メモ①)。「今年には特にきれいだ」と、皆さん言っています。近くに住む植物画家の清水晶子さん(メモ②)が誘ってくれた。国道とJR釧網線の間、2、03年に民有地を買取り市に寄付し、ごみや

美しいミズバシヨウ群落

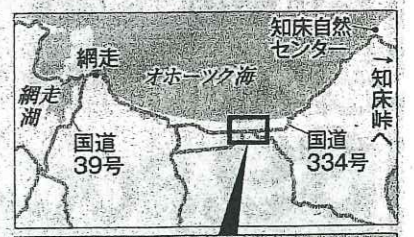


網走市呼人の国道沿いにあるミズバシヨウ群落。美しさは一番

方、ヤチタモの林を縫うように豊富なわき水が流れ、ミズバシヨウの白い花が水面に映って、水が淀み、倒木などを拾い、水が淀むことなく、流れるように、暖かいから、群で夜を過ぎ、ふんがたまり雪解けで現れたんです」と、自然ガイドの若月愛さん



知床の森で出合った、春だけに見られる光景。ここからシカのふんからできている



られたシカの毛皮や骨が残っており、ひんやりした気分も味わえるが、一般向きではないかもしれない。最後に、町立知床博物館(同④)。大型連休は天候に恵まれないが、逆に屋内施設とあって入館者は増えているそう。野外観察園では生きたオオワシ、オシロワシにも会える。

さて、知床から斜里の街地に戻ったら訪ねてみたい所が二つある。昨年、哲学者の故・串田孫一の仕事部屋が再現された私設美術館「北のアルプ美術館」(同③)。4月7日の暴風雨で、きれ

2013年 5月 発行
呼人水芭蕉通信 9号
- 網走湖・水と緑の会 -
網走市呼人187-1 森家内 Tel/Fax 0152-48-2223
年会費 1000円 郵便振替口座 02730-3-20099 網走湖・水と緑の会

ミズバシヨウ 呼人群生地を整備
水と緑の会ボランティアら40人で

市呼人にあるミズバシヨウ群落の保全に、取り組んでいる網走湖・水と緑の会(清水晶子会長)が20日、群生地を整備した。会員や市民など、約40人が集まった。地域の環境保全に協力しよう、と、NGKオホーツク(市呼人)からも10人が参加した。群生地内に水が滞留するよう、枯れ枝や枯れ草を集めて敷き詰め、水留めにするなどした。水留めに、風で飛ばないもの、風で飛んで来たりキツネなどの動物が持ち込んだりしたごみがあり、中には「なせこんなものが」と話していた。



呼人群生地を整備する水と緑の会やボランティアの市民
社員10人が作業を手伝ったNGKオホーツクの島輝人総務部長は「この群生地は観光客も多く訪れる場所。地域の企業として、環境保全に少しでも役立てれば」と話していた。(伊藤)

水芭蕉群生地を草刈り

市呼人にあるミズバシヨウ群落の保全に取り組んでいる網走湖・水と緑の会(清水晶子会長)が25日、群生地の草刈りをした。会員や市民など約20人が集まった。地域の環境保全に協力しよう、と、NGKオホーツクからも6人が参加した。

参加者は群生地内に入り、草刈機を使って雑草を刈った。「春の最盛期に、ミズバシヨウが見やすいように」と、樹木の根元は念入りに刈り取っていた。NGKオホーツクの社員も、草刈機を持参。道路沿いの雑草も含めてきれいにした。同社



環境保全への協力で草刈りを手伝うNGKオホーツクの社員

- ①呼人ミズバシヨウ群落 網走市呼人の国道39号の養護学校入口バス停そば。「呼人水芭蕉・ホタル保全林」の看板あり
- ②知床自然センター周辺の森 斜里町岩字別。フレベの滝まで遊歩道あり。森に入るなら自然ガイド(半日5千円前後)に同行を
- ③北のアルプ美術館 斜里町朝日町11の2。6～10月は午前10時～午後5時。月曜日は休館。無料。☎0152・23・4000
- ④町立知床博物館 斜里町本町49の2。午前9時～午後5時。月曜休館だが6日は開館する。高校生以上300円、中学生以下無料。☎0152・23・1256